

社会資本総合整備計画（防災・安全交付金）

平成30年 3月23日

計画の名称	笠岡市における循環のみちの実現（防災・安全）（重点計画）										重点配分対象の該当	○							
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）					交付対象	笠岡市												
計画の目標	雨水排水計画区域内の未整備区域解消を図ることで安全・安心な生活を創造する。																		
計画の成果目標（定量的指標）	①雨水排水計画による雨水対策実施率を76%（H30当初）から83%（H34）へ増加させる。																		
定量的指標の定義及び算定式											定量的指標の現況値及び目標値		備考						
											当初現況値 (H30当初)	中間目標値 (H32末)		最終目標値 (H34末)					
①雨水排水計画区域の雨水渠整備実施率 雨水対策実施面積 (ha) / 雨水排水計画面積 (ha)											76%	78%		83%					
全体事業費	合計 (A+B+C+D)		280百万円	A	280百万円	B	百万円	C	百万円	D	百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	%						
交付対象事業																			
A 基幹事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
											H30	H31	H32	H33	H34				
A07-001	下水道	一般	笠岡市	直接	-	管渠(雨水)	新設	浸水対策事業（笠岡処理区）	雨水渠築造 L=0.6km	笠岡市						270			
A07-002	下水道	一般	笠岡市	直接	-	管渠(雨水)	新設	浸水対策事業（笠岡処理区）	調査・設計等	笠岡市						10			
											合計					280			
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考		
									H30	H31	H32	H33	H34						
											合計					0			
C 効果促進事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考				
									H30	H31	H32	H33	H34						
											合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考						
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																			
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考				
									H30	H31	H32	H33	H34						
											合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考						

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H30	H31	H32	H3	H34
配分額 (a)	40	25	25		
計画別流用 増△減額 (b)	4	0	0		
交付額 (c=a+b)	44	25	25		
前年度からの繰越額 (d)	0	28	13		
支払済額 (e)	16	40	34		
翌年度繰越額 (f)	28	13	0		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	4		
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	10.5%		
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由			H32(R2)年度 にて予定箇 所の整備が ほぼ完了し たため		

社会資本整備総合交付金チェックシート

(下 水 道 事 業)

計画の名称: 笠岡市における循環のみちの実現(防災・安全)(重点計画)

事業主体名: 笠岡市

チェック欄

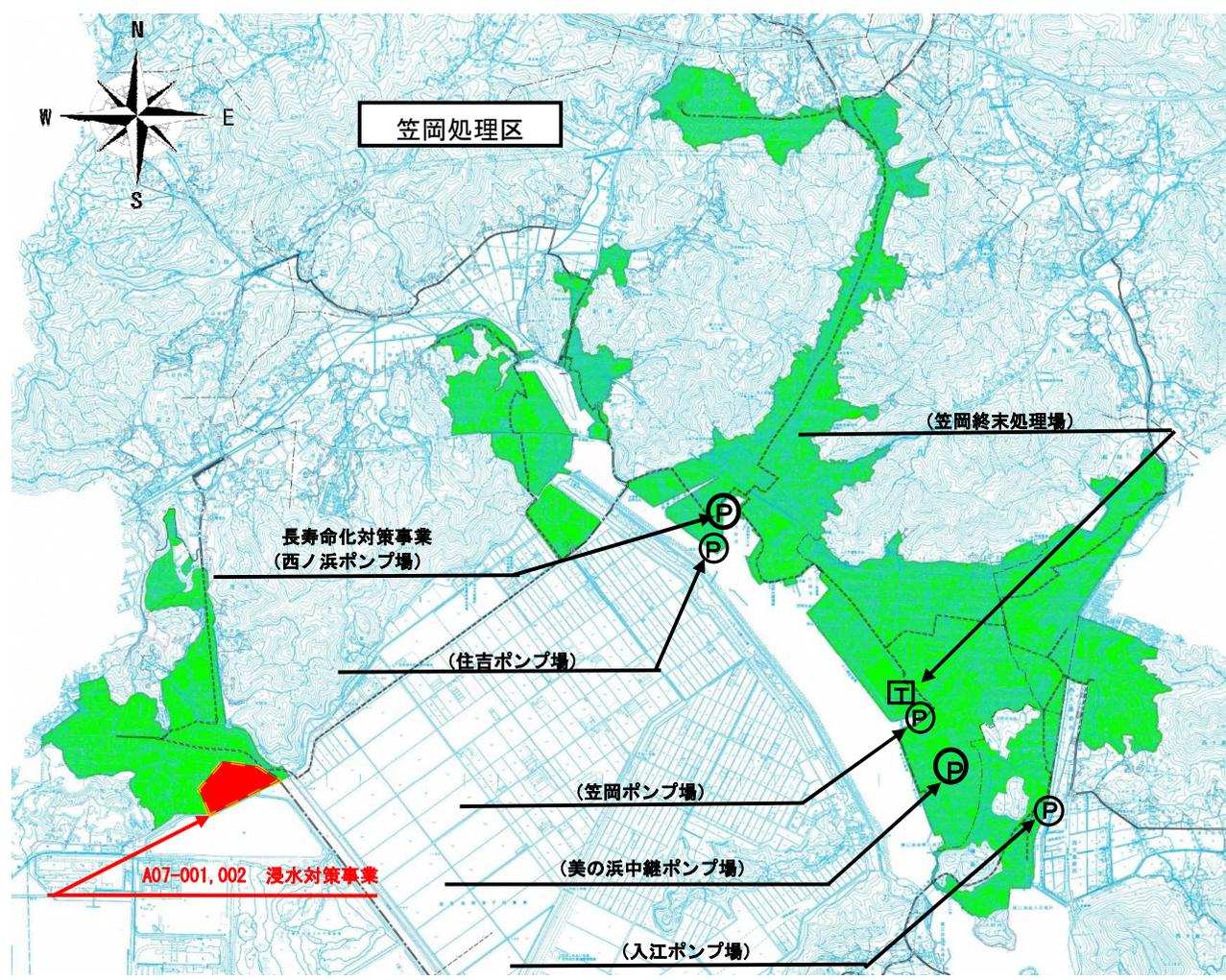
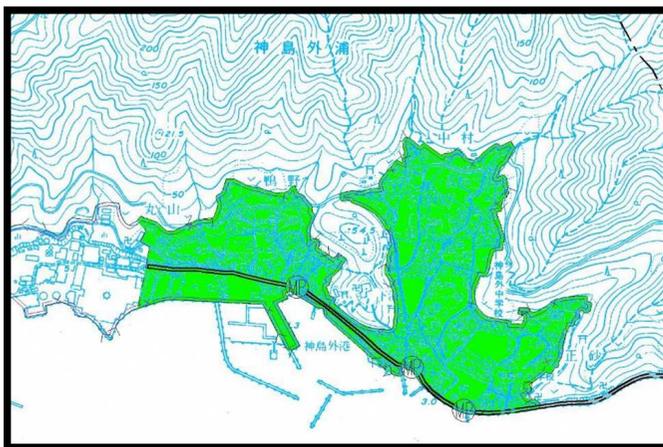
I. 目標の妥当性	
①個別処理との経済比較に関する上位計画等との適合	
1)都道府県構想(クリーンライフ100構想)に適合している。	○
2)これまで行ってきた、「下水道事業の整備効果向上を図るための事業の再点検(4つの点検)」の実施結果を反映している。	○
②地域の課題への対応	
1)地域の課題を踏まえて下水道整備の目標が設定されている。	○
2)下水道整備の必要性という観点から地区の位置づけが高い。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)目標及び事業内容と下水道事業認可区域との整合性が確保されている。	○
4)指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
5)事業効果をより高めるため、ハード事業とソフト事業を効果的に組み合わせる等の工夫がなされている。	—
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	—
III. 計画の実現可能性	
⑤円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)計画および実施に関し、住民等に対する事前説明が行われている。	○
3)計画および実施に関し、住民等との間で合意が形成されている。	○

(参考図面) 社会資本総合整備計画 (防災・安全交付金)

計画の名称	笠岡市における循環のみちの実現 (防災・安全) (重点計画)		
計画の期間	平成30年度 ~ 平成34年度 (5年間)	交付対象	笠岡市



A01
A02



※整備については、すべて
下水道事業計画区域内で行う。

凡 例	
(P)	ポンプ場
(T)	下水処理場

社会資本総合整備計画 中間評価書

計画の名称	笠岡市における循環のみちの実現（防災・安全）（重点計画）												
計画の期間	平成30年度～平成34年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	笠岡市												
計画の目標	雨水排水計画区域内の未整備区域解消を図ることで安全・安心な生活を創造する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	280	A	280	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画的成果目標（定量的指標） 定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30当初	H32末	H34末
1	雨水排水計画による雨水対策実施率を76%（H30当初）から83%（H34）へ増加させる。 雨水排水計画区域の雨水渠整備実施率 雨水対策実施面積（ha）／雨水排水計画面積（ha）	76%	78%	83%

備考等	個別施設計画を含む	—	国土強靱化を含む	—	定住自立圏を含む	—	連携中枢都市圏を含む	—	流域水循環計画を含む	—	地域再生計画を含む	—
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	笠岡市	直接	笠岡市	管渠（雨水）	新設	浸水対策事業（笠岡処理区）	雨水渠築造 L=0.6km	笠岡市	■	■	■	■	■	270	—	
	A07-002	下水道	一般	笠岡市	直接	笠岡市	管渠（雨水）	新設	浸水対策事業（笠岡処理区）	調査・設計等	笠岡市	■	■				10	—	
												小計						280	
												合計						280	

中間評価

○中間評価の実施体制、実施時期

中間評価の実施体制

笠岡市

中間評価の実施時期

令和3年3月末

公表の方法

笠岡市ホームページで公表する

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する
交付対象事業の効果の発現状況

浸水対策事業を実施することで、市民生活の安心・安全を図ることができた。

定量的指標以外の交付対象事業の
効果の発現状況（必要に応じて記述）

○特記事項（今後の方針等）

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	雨水渠整備実施率	
	中間 目標値	78%
	中間 実績値	83%